

令和2年度 学校自己評価システムシート(埼玉県立羽生高等学校)

目指す学校像	主体的に学ぶ力と豊かな人間性を育成し、地域に開かれた学校づくりを推進する。
--------	---------------------------------------

※ 学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 生徒個々の能力や適性を把握し、少人数の良さを生かした指導方法を工夫・共有して、基礎学力の定着に努める。 生徒の進路意識を高めさせ、進路実現を促す指導を推進する。 生徒に基本的な生活習慣を身に付けさせ、社会性を培い、規律ある明るい校風づくりを推進する。 学校自己評価システムの効果的な活用を図り、広報活動の一層の充実に努め、地域の生涯学習機関として貢献する。
------	---

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	学校関係者	7名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	4名

学 校 自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価	
年 度 目 標					実 施 日 : 令和2年2月10日	
番号	現 状 と 課 題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度

番号	現 状 と 課 題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	生徒は進路実現に向け科目選択を行い、授業に取り組んでいるが、欠席数の増加や学習意欲の低下から未履修となる生徒もいる。また、学力的にも学び直しの支援が必要であることから、教員は授業力向上に努め、生徒の主体的な学びを支援している。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休業の長期化の中で、生徒の学習意欲を保ちつつ、基礎学力定着や生徒の主体的な学びを支えるための具体的な取組が求められている。	・基礎学力の定着、登校意欲・学習意欲の向上	・年間行事予定を再検討し、授業日数をできる限り確保する。 ・臨時休業中の限られた登校日の中で、受講の手引きを活用し、履修指導の工夫・改善を行い、生徒一人一人の自己の進路実現に必要な科目や興味・関心・適性に応じた科目を履修させ、授業への積極的な参加を促す。 ・研究授業等に加え、Google Classroom などICTを活用した指導方法の研究・実践に取り組む。	①例年80%の授業日数を確保することができたか。 ②年度当初、個々の生徒の興味関心や適性、進路実現に向けた受講指導ができたか。 ③授業アンケート結果で、以下の項目において、肯定的評価率が前年度を上回ったか。 ア 授業に対する意欲・関心 イ 授業のわかりやすさ ④生徒の履修状況や単位修得状況が前年度と比べて向上したか。 ⑤ICTを活用した授業実践やHR指導等の事例が前年より増加したか。	①授業日数確保に向けた校長の具体的方針に基づき、企画委員会で検討を重ねた結果、長期休業日の削減等により授業日数を年度当初の予定に対して90%を確保することができた。また、厳しい状況の中でも、生徒一人ひとりに豊かな学校生活を送らせたいという教職員共通の思いもあり、感染症対策を踏まえた、新しい形の文化祭や体育祭等の学校行事を実施することができた。 ②臨時休業中の登校日と学校再開後の授業開始までの限られた時間の中で、教務部と各年次が連携し、受講の手引きを活用しながら丁寧な受講指導を行うことができた。 ③授業に関するアンケートを実施し、「授業に対する関心・意欲」と「授業のわかりやすさ」の肯定的評価については、それぞれ72%と84%であり、昨年度とほぼ同様であった。今年度は感染症防止の観点から、しばらくの間、教育活動に様々な制約がかけられることとなったが、各教員がICTの活用など工夫を重ね、基礎学力を定着させ、分かりやすい授業を実践するべく努力を重ねた。 ④履修状況については、未履修率が昨年度と比べ約5ポイント低下し、昨年度に引き続き改善傾向が見られた。 ⑤多くの教員が、担当する授業やHRにおいて、Google Classroomを指導に活用していた。	A	・感染症対応にとどまらず、「新たな学び」の形への取組として、Google ClassroomなどICTを活用した授業実践をさらに充実させる必要がある。 ・授業日数の確保を進めるとともに、今年度新たな形で実施した学校行事については、成果を引き継ぎ、より良い教育活動に発展させる。 ・令和4年度から始まる新教育課程の円滑な実施に向け、各教科、分掌において必要な準備を進める。 ・引き続き生徒の興味、関心、適性に応じ、主体的な学びを引き出す履修指導の工夫・改善に取り組む。
2	進路について具体的なイメージを持つことができない生徒が比較的多い。自分の進路を考えることの重要性に「気づかせる」指導が必要であり、生徒、保護者、学校、外部機関等の組織的な取組が必要である。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済状況の悪化が見込まれる中、就職希望者の進路を確保することが求められている。	・生徒一人一人の進路希望の実現	①バイターンニュースを活用し、社会体験等を促進し、社会的な生活能力を育成する。また、アルバイト等の経験をまとめさせ、進路指導の教材として活用する。 ②進路行事について、年間計画を見直し、実施時期をできる限り前倒しするとともに、内容についても、現状を踏まえた改善を行う。 ③就職支援アドバイザーを活用し、進路行事の充実を図るとともに、就職希望の生徒により具体的に、適切な支援を行う。	①定期的にバイターンニュースを発行し、積極的に社会体験をさせることができたか。また、実体験をまとめさせ、進路指導の教材として活用できたか。 ②進路行事が現状を踏まえた適切な時期に実施され、進路未決定者率を減少できたか。 ③就職希望者の内定率が100%となったか。	①感染症拡大や感染のリスクを考慮し、バイターン(アルバイトとインターン)を積極的に進めることを見合わせたことから、今年度はバイターンニュースを発行しなかった。しかしながら、今年度から全年度で新たに、「キャリア・パスポート」を作成し、学習や活動の内容を記録し、振り返る体制を整えた。 ②進路行事については、6月からの学校開始という厳しい状況にもかかわらず、進路指導部と各年次がしっかりと連携し、実施時期や方法等の工夫を重ねながら、年度当初に予定されていた企画を概ね実施することができた。また、ハローワークやサポートステーション、民間企業等と連携し、進路実現につながる取組や進路意識を高める取組を実施することができ、進路意識を高めることができた。(進路未決定率は年度末に確定予定) ③就職支援アドバイザーを活用し、面接指導等を計画どおり実施するとともに、アドバイザーの指導内容や生徒の状況を3・4年次の教員全体で共有し、日常の指導に生かした。3月25日現在、卒業予定者35名中、進路決定者は20名(専門学校:15名、就職5名)、また、未決定者は15名(昨年度8名)おり、引き続き進路希望の実現に向け指導を行っている。	B	・今年度から全年度で導入した「キャリア・パスポート」を学校全体で積極的に活用するとともに、効果的な活用事例を蓄積し、キャリア教育の充実を図る。 ・来年度の屋間部3年次から導入される「総合的な探究の時間」について、活動内容を整えるとともに、探究活動を通じて自己肯定感を高め、社会の中に自らを位置づけて考える力の育成を図る。
3	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、従来とは大きく異なることが予想される学校生活を前提とし、今まで以上に一人一人の生徒に寄り添う指導を行う必要がある。その上で、不登校経験のある生徒等に対し、SCやSSW・学習支援員等との連携を強化し、保護者を含めた効果的な支援を行っていく必要がある。	教育相談を活用した支援の充実とコミュニケーション能力の向上	①スクールカウンセラー(SC)、スクールソーシャルワーカー(SSW)、学習支援員等と連携し、組織的に生徒・保護者の支援を行う。 ②外部の特別支援教育コーディネーター等の活用、研修会及び情報交換会等を実施し、教育相談や特別支援教育の視点を踏まえた指導のスキルアップを行う。 ③多文化共生推進員の協力のもと、外国につながる生徒の学習支援を行う。	①相談室だよりを月初めに発行し、SC、SSW、学習支援員の相談日程等の有益な情報提供を保護者に行い、相談や支援が十分できたか。また教職員間において共通理解が得られたか。 ②特別な支援が必要な生徒に対し、十分な相談体制を構築し、支援ができたか。 ③外国につながる生徒への「日本語指導」等の学習支援が十分できたか。	①相談室だよりを月初めに発行し、SC、SSW、学習支援員の相談日程だけでなく、SCやSSW等からの教育相談に関するメッセージを掲載するなどして、より有益な情報提供を行った。また、SC、SSW、学習支援員のいずれか1名が、原則毎日教育相談室に常駐し、生徒や保護者からの相談を受け、様々な課題の解決や不安の払拭に取り組んだ。また、教育相談部が中心となって、SCやSSWと連携し、情報交換を積極的に行い、共通理解の上、生徒支援を進めた。 ②年間2回の生徒情報交換会を実施するとともに、外部の特別支援教育コーディネーターや医療機関とも連携し、特別な支援が必要と思われる生徒それぞれの状況に応じて、ケース会議を開催し、チームによるサポート体制を整え、支援することができた。 ③外国につながる生徒に対して、県教委から配置された多文化共生推進員と夜間部教員が連携し、一人ひとりの生徒の習熟度に応じた学習支援を行い、生徒の日本語力向上につなげた。	A	・引き続き教育相談部を中心に、SC、SSW、学習支援員等と教員が連携して、悩みや課題を抱えた生徒に対して、組織的、継続的に支援をしていく。 ・外国につながる生徒に対して、多文化共生推進員による指導のノウハウを蓄積し、次年度以降の日本語指導の充実につなげる。
4	臨時休業の長期化に伴い、生活習慣が乱れることや人間関係のトラブルを防ぐとともに、感染症予防のために必要な新たな習慣を身に付けられるよう保護者と連携した継続的な指導が求められている。また、「高校生の自動二輪車等の交通安全に関する指導」についても、継続的に安全教育を行う必要がある。	・基本的な生活習慣の維持と命を守る新たな生活習慣の確立	①感染症拡大防止に有効な検温やマスク着用、社会的距離の確保など、「新しい生活様式」が日常的な習慣となるよう、正門や昇降口での立哨指導をはじめ、学校生活の様々な場面で、組織的に指導する。 ②問題行動やいじめ等の未然防止と早期発見を実現するため、全教職員が共通理解を図り、統一した指導を実施する。 ③生徒指導マニュアルにより、原付自転車や自動二輪車の免許取得や乗車について、保護者と連携し、交通安全教育を行う。	①「新しい生活様式」が日々の習慣として確立するとともに、様々な感染症の集団感染を防ぐことができたか。 ②生徒指導アンケートの基本的な生活習慣に係る諸項目が、昨年度と比較して改善されたか。 ③原付自転車や自動二輪車の免許取得や乗車について、規則を理解させ、交通事故等を未然に防ぐ指導ができたか。	①「新しい生活様式」の確立について、県教委が示すガイドラインに基づきながら、保健環境部が中心となって、本校としての取組や指導方法を企画、立案し、年次と連携しながら、日々の検温体制やマスク着用指導、ソーシャルディスタンス等に関する意識啓発を積極的に行った。また、生徒への感染を可能な限り防ぎたいとする教員全体の強い思いから、高いレベルでの校内消毒体制を年間を通じて維持した。その結果、校内から現時点で一人の感染者も出していない。 ②新年度開始後、2か月にわたって臨時休業が続き、特に1年次生にとっては人間関係の構築に困難な状況にあったが、生徒指導部、年次団、担任がしっかりと連携し、生徒の状況に応じた積極的な生徒指導を行った。また、生徒指導に関するアンケートについて、基本的な生活習慣に係る項目(欠席・遅刻)では、感染症拡大の影響を受けながら、やや悪化した傾向が見受けられた。 ③原付自転車や自動二輪の免許取得や乗車について、生徒指導マニュアルに基づき、保護者と連携し、交通安全教育を行うとともに、県教委主催の交通安全教育に生徒を派遣し、更なる指導の充実を図った。	A	・新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、来年度以降も「新しい生活様式」が習慣化されるよう、保健環境部を中心に指導体制を確立する。 ・「新しい生活様式」については、まだ慣れていないが、教員が指導するだけでは、本当の意味で効果はなく、生徒一人ひとりが自分で考え取り組むことが大切だと思ふ。 ・今年度いじめ問題などが生じる可能性も例年に比べてリスクが高かったと思うが、早期発見のためのアンケートや個人への聞き取りなど、教員の生徒への思いやりや信頼があつてこそ成立するものであると思う。そのような学校であることが近隣住民の方達にも伝わると思う。
4	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、その時々状況に合わせて教育活動の変更が迫られており、HP等を活用した生徒・保護者への適時、適切な情報提供が求められている。 ・感染症拡大防止の観点から、学校説明会等の学校行事が、例年同様の形式で行えるか検討が求められている。HPをはじめ様々な媒体を効果的に活用し、学校の状況を発信していく必要がある。	・新型コロナウイルス感染症に係る必要かつ効果的な情報発信 ・本校の魅力の積極的な発信と地域貢献、関係者の理解促進	①本校における感染症関連の対応を積極的にHPで発信するとともに、行事予定の変更等をできる限り早めに発信する。 ②学校だより、PTA広報、羽生市報等を活用して、中学生・保護者や地域住民等へ効果的な情報発信を行う。 ③学校案内及び学校説明会(実施時期、実施方法等)の見直しを行い、本校を希望する中学生向けに、本校の魅力や情報を適時・適切に提供する。	①感染症関連の情報やそれに伴う学校の取組等について、適時、適切にHPやその他の方法で発信することができたか。 ②教育活動の様子やその他の学校情報を積極的に発信できたか。HPの更新数とアクセス数が増加し、効果的な広報活動ができたか。 ③学校説明会を見直し、新型コロナウイルス感染症対策を徹底の上、効果的に実施したか。また、学校説明会への参加者が増加したか。	①臨時休業明けをはじめとして、県教委の示す「ガイドライン」が改訂されるなど、節目ごとに保護者あて通知を発生し、学校で行う感染症対策やそれに伴う指導等について理解を求めた。発信することにより、家庭での感染防止についても協力を得ることができた。 ②日々の教育活動をはじめとして様々な情報を積極的に発信した。HPの更新回数1/12時点で70回(昨年度同期89件)、アクセス数は227,738(令和2年5月4日～令和3年1月11日、1日平均900)であった。また、今年度は羽生市と連携した情報発信も行い、新聞にも掲載された。さらに地域への情報発信として、地域の高校や特別支援学校と連携して「9校合同入試説明会」を実施し、幹事校として中心的役割を果たした。 ③教務部が中心となって学校説明会の実施方法や実施内容、学校案内の内容の見直し等を進めるとともに、新たに「学校紹介動画」を作成し、学校HPや県教委の専用サイトにも公開するとともに、感染症対策等を踏まえた、生徒募集の新たな形を確立した。学校説明会の参加生徒数は第3回までで79名(昨年度同期111名)であった。	A	・感染症に係る情報発信については、引き続き県教委の通知等を踏まえながら、適時・適切に実施することを目指す。 ・HPによる情報発信を中心としながらも、学校だよりやPTA広報、羽生市広報など、様々な機会やツールを通じて、生徒の日々の活動を積極的に発信することを目指す。 ・新たな生徒募集の形がより効果的に充実したものとなるよう、教務部を中心に見直しを進める。

学校関係者からの意見・要望・評価等		
・授業日数を90%も確保したことは、生徒の基礎学力や学習意欲の向上においてとても有意義なことであったと思う。 ・教員用アンケートからは、生徒の授業態度改善に向けた粘り強い指導の様子がうかがえ、しっかりとした根拠に基づいた学力向上の取組であると思う。 ・履修率の向上については、授業の分かりやすさ、飽きさせない工夫がなされていることと関係していると考えられる。 ・Google Classroomの活用については、スマートフォンにアプリケーションをダウンロードして利用する場合、データの容量が大きく、扱いづらい面があったり、自分が入力した内容が他者に見られる可能性があることへの抵抗感を感じる生徒もいる。 ・生徒への授業内容に対する興味を高める指導や生徒が勉強の必要性をより感じられるような指導の工夫を引き続きお願いしたい。		
・コロナ禍で全国的に就職率が低迷する中で、全学年でキャリア・パスポート作成などの対応をしており、今後就職困難期に陥ってしまった時においても、有意義な取組となる。 ・進路だよりの進路指導主事のメッセージは、分かりやすく、実践的で感動した。進路実現に向けて生徒がなかなか動かないのは、自分の事としての実感がなかなか持てないためではないか。身近な人の講話やアルバイトをしている生徒の「働いている」実体験等を伝える場があるとうれしかった。 ・もう少し進路指導の時間があっても良かったのではないと思う。またキャリア・パスポートに取り組むことで、自分に向き合えたのが良かった。		
・コロナ禍で心身ともに不安定になりやすい中、各専門家と教員が連携をとり、情報交換を積極的に行って対応していることは素晴らしいと思ふ。 ・毎日SC等が教育相談室に在室していて、いつでも生徒が相談できる手あつい対応になっており、あわせて不安を多く抱えている保護者へのサポートや協力に感謝したい。		
・新型コロナウイルスに対する予防策を引き続きお願いしたい。 ・いまだに1人の感染者も出していないことは良いことだ。 ・「新しい生活様式」については、まだ慣れていないが、教員が指導するだけでは、本当の意味で効果はなく、生徒一人ひとりが自分で考え取り組むことが大切だと思ふ。 ・今年度いじめ問題などが生じる可能性も例年に比べてリスクが高かったと思うが、早期発見のためのアンケートや個人への聞き取りなど、教員の生徒への思いやりや信頼があつてこそ成立するものであると思う。そのような学校であることが近隣住民の方達にも伝わると思う。		
・在校生の感染症対策はもちろんのこと、学校説明会など外部から人を学校内に入れることに対する予防対策に、大変苦慮したことと思う。学校のHPを何度か見たが、コロナ禍でも生徒が意欲的に活動している姿が多く、とても魅力的な学校だと感じた。 ・HPのアクセス数を増やすことも大事であるが、学校紹介動画を作成し、学校のHP以外でも閲覧できることは、とても良いことだと思ふ。より、多くの生徒に羽生高校の魅力を知ってもらえることを期待する。 ・羽生高校は、「学び直し」や「やり直し」のできる学校であることも知ってもらおう工夫が必要ではないか。 ・臨時休業中にHPによくアクセスをしたが、HPに掲載される記事を見て、学校生活を振り返ることがあり、良い思い出となっているので、そのような意味においても、より多く更新してくれるとありがたい。		